

 **日本プロセス株式会社**
決算説明会

2010年5月期

2010年7月14日

1)10年5月期 連結決算について

2)11年5月期 業績見通しについて

3)今後の取組みについて

1)10年5月期 連結決算について

2)11年5月期 業績見通しについて

3)今後の取組みについて

2010年5月期 連結決算の概況

単位:百万円

	計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	4,850	△209 △ 4.3%	4,641	△489 △9.5%	5,131
営業利益	280	△52 △18.6%	228	△82 △26.6%	311
経常利益	305	△36 △ 11.8%	269	△85 △24.0%	354
当期純利益	175	△5 △ 2.9%	170	△7 △4.5%	178

【対前年】

●売上高:

社会インフラを中心とした制御系システム開発は堅調に推移するも、その他のシステム開発は設備投資、情報化投資の抑制や顧客内製化などにより大幅に減収。

●営業利益:

売上減少に原価低減策が追いつかず減益。

●経常利益:

営業利益減により減益。

●当期純利益:

有価証券売却益などにより減益幅縮小。

【対計画】

●売上高:

制御系/組込系システム開発はほぼ計画通りながら、子会社を中心とした業務系システム開発の一部顧客におけるシステム開発内製化と新規開発の中止により計画未達。

●営業利益:

外注費削減などを行うも、売上高減をカバーできず減益。

●経常利益:

営業利益減により減益。

●当期純利益:

営業利益減により減益。

【トピックス】

●需要にあわせた人材の最適配置

制御系に人材を集中

●新入社員採用

2010年4月採用実績: 39名

●工事進行基準の適用

期末進行中プロジェクトの売上85百万円

●有価証券売却益、受贈益等

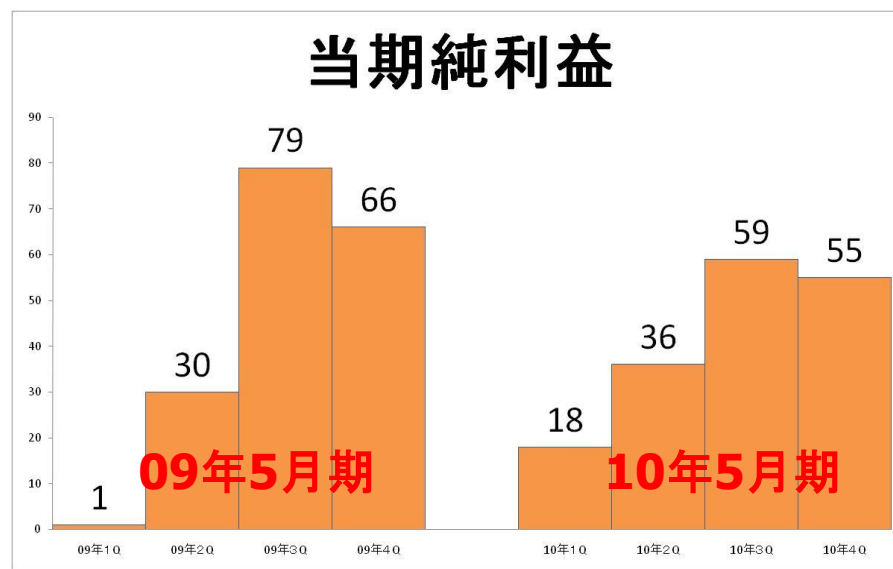
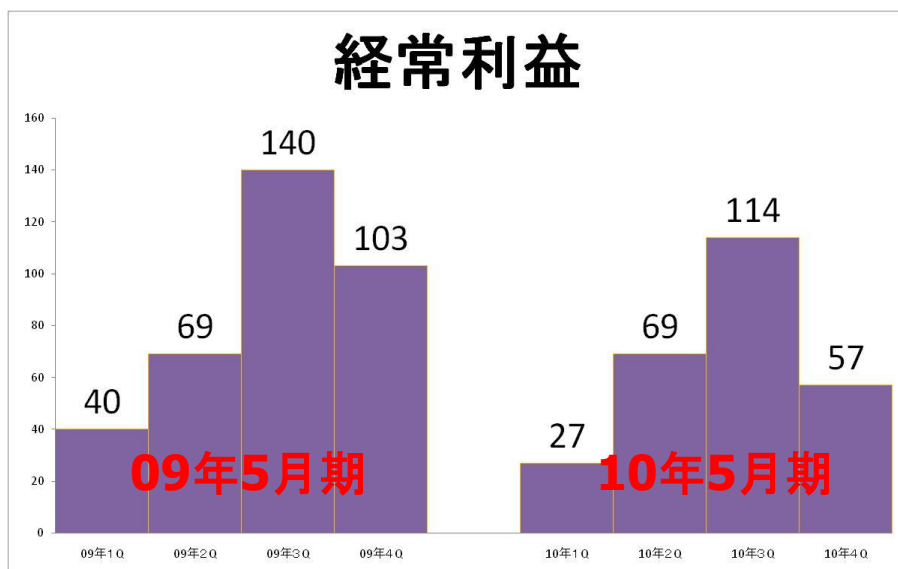
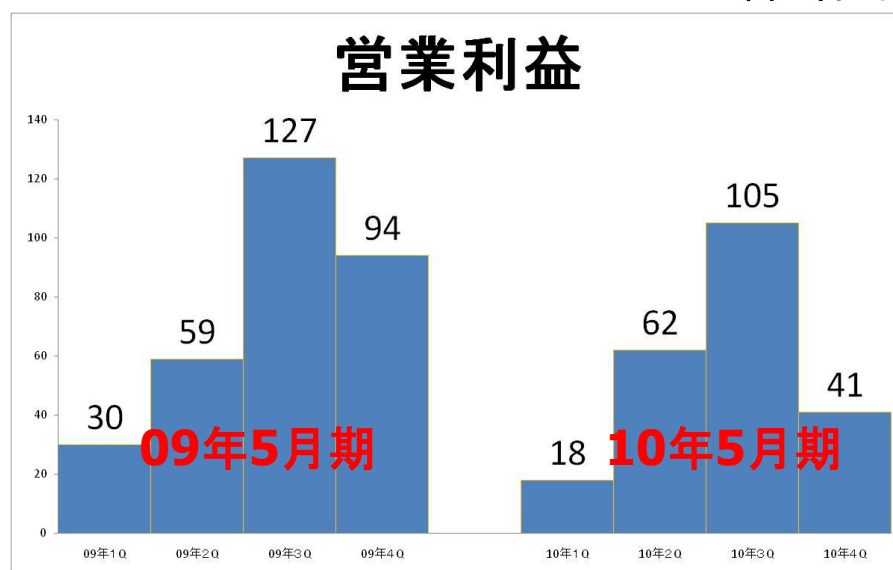
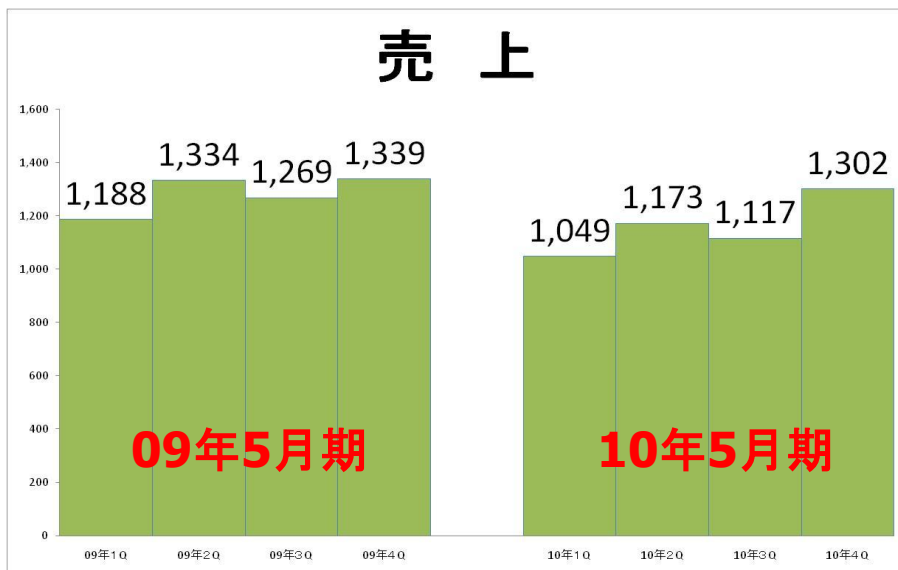
特別利益53百万円

●子ども育成のための寄付は継続

2団体に合計150万円寄付

連結決算の概況(四半期推移)

単位:百万円



10年5月期 セグメント別売上実績

単位:百万円

セグメント		09年5月期	10年5月期	増減額 (増減率)
制御系	売上高	1,915	2,153	237
	(構成比)	(37.3%)	(46.4%)	(12.4%)
組込系	売上高	1,528	1,260	△267
	(構成比)	(29.8%)	(27.2%)	(△17.5%)
基盤系	売上高	406	337	△68
	(構成比)	(7.9%)	(7.3%)	(△17.0%)
業務系	売上高	767	441	△325
	(構成比)	(15.0%)	(9.5%)	(△42.4%)
システム 開発合計	売上高	4,618	4,193	△424
	(構成比)	(90.0%)	(90.4%)	(△9.2%)
情報 サービス	売上高	513	447	△65
	(構成比)	(10.0%)	(9.6%)	(△12.8%)
売上合計	売上高	5,131	4,641	△489
				(△9.5%)

財務指標(その他)

	09年5月期	10年5月期
当期純利益	178百万円	170百万円
純資産額	8,249百万円	8,073百万円
1株当たり純資産	1,435.96円	1,455.93円
1株当たり当期純利益	31.10円	30.14円
自己資本比率	90.1%	92.5%
自己株式	13株	200,013株
従業員数	525人	542人

連結キャッシュ・フロー

単位:百万円

区 分	09年5月期	10年5月期
営業活動による キャッシュ・フロー	312	△42
投資活動による キャッシュ・フロー	△687	△570
財務活動による キャッシュ・フロー	△171	△347
現金及び現金同等物の 増減額	△546	△960
現金及び現金同等物の 期首残高	3,017	2,471
現金及び現金同等物の 期末残高	2,471	1,510

1)10年5月期 連結決算について

2)11年5月期 業績見通しについて

3)今後の取組みについて

2011年5月期 通期業績見通し

単位:百万円

	10年5月期 実績	11年5月期 見通し	増減額 (増減率)
売上高	4,641	4,960	319 (6.9%)
営業利益 (営業利益率)	228 (4.9%)	240 (4.8%)	12 (4.9%)
経常利益 (経常利益率)	269 (5.8%)	340 (6.9%)	71 (26.4%)
当期純利益 (当期純利益率)	170 (3.7%)	204 (4.1%)	34 (19.5%)

セグメント別売上見通し

単位: 百万円

2010年5月期

セグメント	売上高 (構成比)
制御系	2,153 (46.4%)
組込系	1,260 (27.2%)
基盤系	337 (7.3%)
業務系	441 (9.5%)
情報サービス	447 (9.6%)
売上高合計	4,641

2011年5月期

セグメント	売上高 (構成比)
交通	950 (19.2%)
特定情報	640 (12.9%)
制御	830 (16.7%)
組込	1,280 (25.8%)
産業・公共	740 (14.9%)
ITサービス	520 (10.5%)
売上高合計	4,960

●2011年5月期よりマネジメントアプローチによるセグメントに変更します。

株主配当の推移

株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策として位置付け、
安定的な配当の継続と配当性向50%以上を目標として実施してまいります。



1)10年5月期 連結決算について

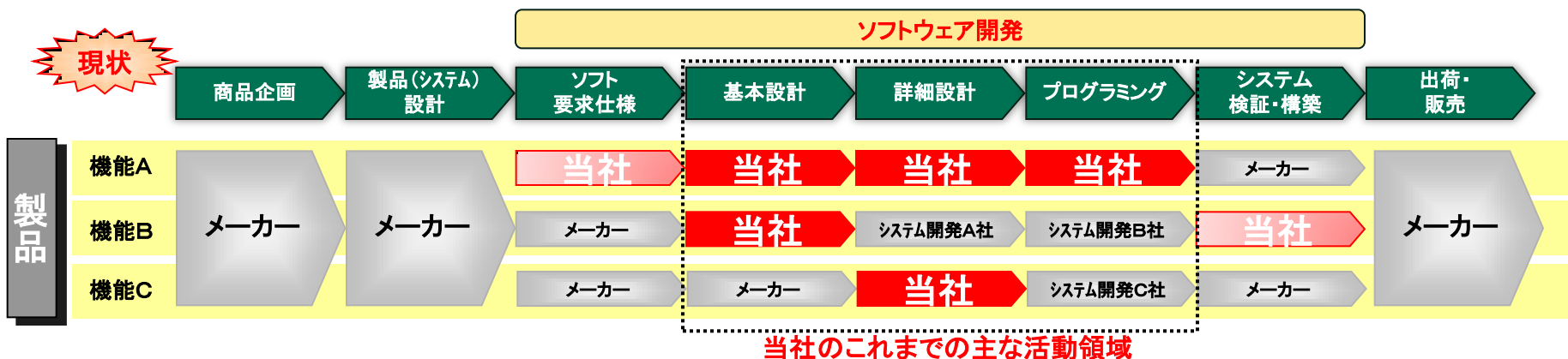
2)11年5月期 業績見通しについて

3)今後の取組みについて

当社の使命

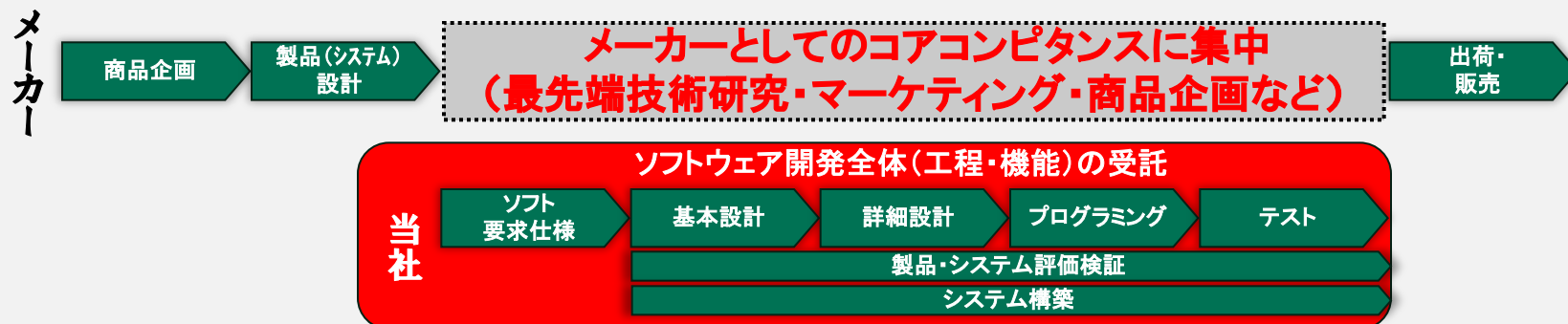
ソフトウェア技術と品質で、『社会の安全、安心、便利』に貢献する。

→ T-SES(トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス)



中期経営戦略

トータルサービスで品質向上 メーカーはコアコンピタンスに集中



◆営業強化

営業専任者の採用、既存顧客の横展開強化

◆事業運営の効率化

事業部制移行、子会社を含めた再編

◆人材育成(継続)

管理者、技術者教育の充実

◆採用強化(継続)

不況期は優秀な人材採用のチャンス

- 1) 営業専任者による新規顧客開拓
- 2) 既存顧客内での横展開強化

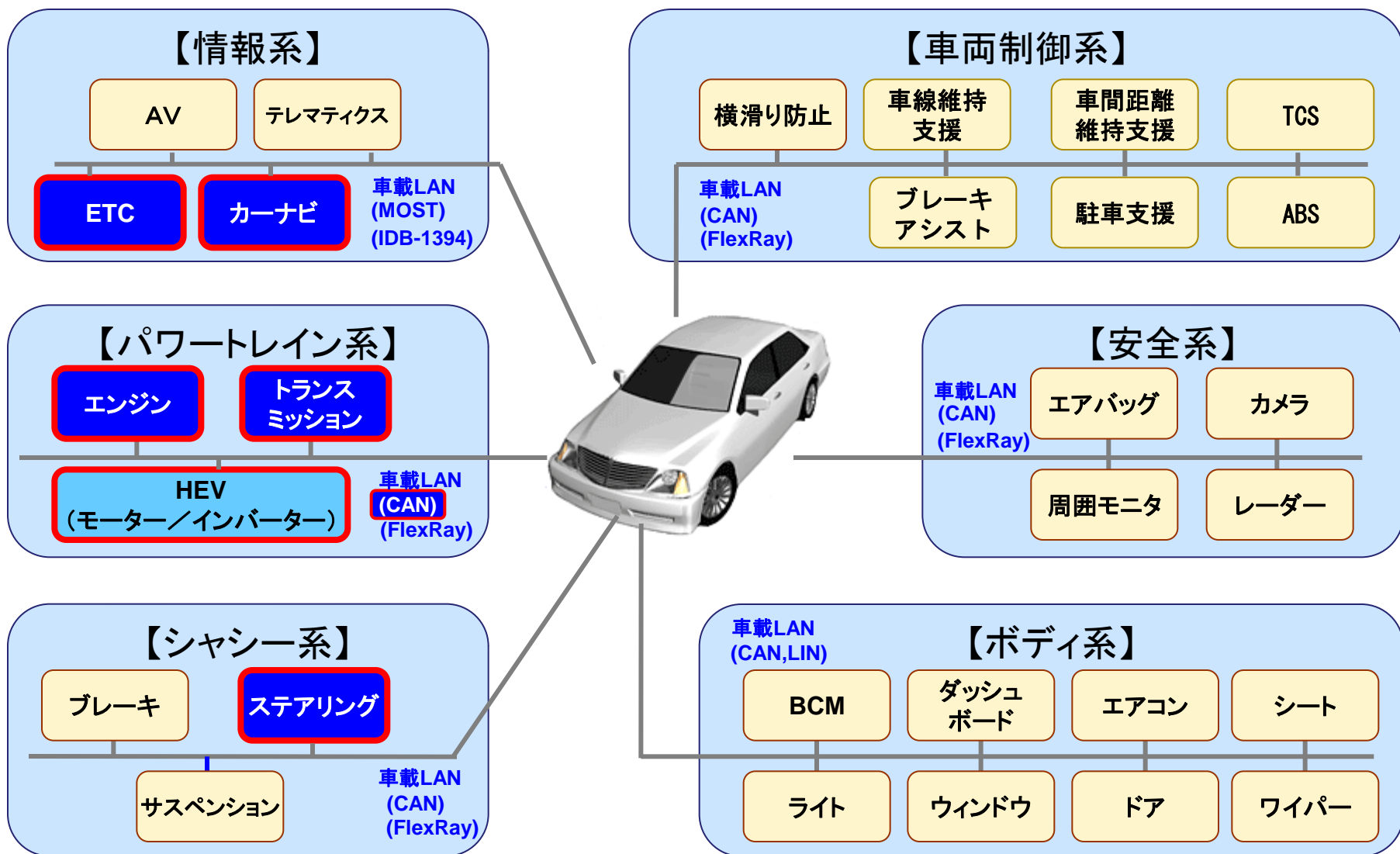


2010年5月期取引開始主要顧客

1) 新規取引顧客	日本電気 日立産機システム 富士電機システムズ
2) 新規取引事業所等	東芝ビジュアルプロダクツ社 東芝セミコンダクター社

		取組み	
分野・技術	自動車	HEV/EVへ	
	携帯電話	次世代規格へ	
海外展開	鉄道/ 火力 発電	開発実績を海外に展開	

(現在の注力分野) 自動車はHEV/EVへ



 : 弊社の開発担当分野

(現在の注力分野)
携帯電話は次世代規格へ

次世代規格のKey-Word

●**高速通信**
コンテンツの大容量化

●**オープンなOS**
アプリケーションの増加

●**スマートフォン**
操作性の向上
高機能、差別化

アプリケーションの高度化
開発規模の増大

競合企業の参入

プラットフォームの高度化
開発の難易度UP

機種固有のドライバ開発

携帯電話のソフト構成

アプリケーション

プラットフォーム

- ・基本システム制御
- ・マルチメディア制御
- ・通信制御 など

ドライバ

電源、起動、表示、カメラ、
通信、センサ、サウンド、
チューナ、セキュアなど

当面は次世代携帯の特需

◆顧客の海外展開と共に

火力発電(中国、インド、タイ → 各国)
新幹線(台湾 → アメリカ、ブラジル、ベトナム...)

◆海外事業推進部の新設

案件開拓
ビジネス支援

◆海外グループ会社(大連IPD)の活用拡大

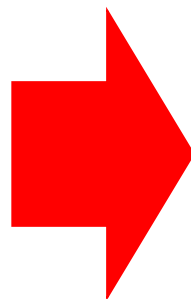
当社のオフショア開発
オフショア開発を希望している顧客からの橋渡し

分野	取組み
画像	画像生成から画像利用へ
交通	鉄道の業務領域拡大
電力	スマートグリッド

(これまで)

高度な画像生成技術

補正技術
補完技術
空間認識技術
etc



(今後の事業拡大)

高度な画像利用分野

医療
危機管理(防災)
ロボット、ユビキタス
etc

(今後の事業拡大のために)

画像技術センター

- ・プロジェクト実績技術の集積
- ・画像基礎技術の調査・蓄積
- ・画像応用分野の研究

(中期的な事業拡大策)
鉄道の業務領域拡大

運行制御系

進路制御系

列車追跡制御
進路制御
手動制御
etc

情報処理系

ダイヤ管理
車輛運用計画
旅客案内装置
etc

運行表示系

システム監視
etc

共通インフラ(システム管理・通信管理 etc)



駅務系

自動改札
券売機
窓口処理機
etc



情報系

周辺業務系

電子マネー
車内広告
etc

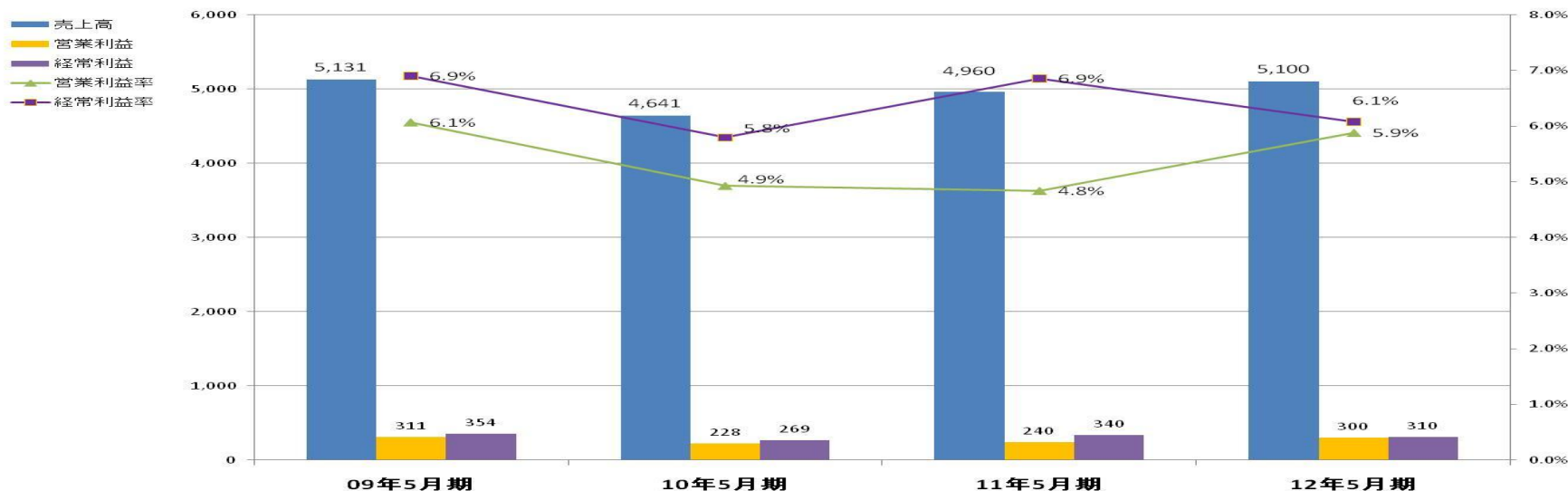
旅客業務系

予約発券
etc

	発電	送電/配電	利用
現状	<p>大規模集中発電 (火力、水力、原子力等)</p>	<p>系統制御</p>	<p>省エネ機器 (省エネ家電、ビル管理)</p>
今後	<p>分散型再生可能エネルギー (太陽光、太陽熱、風力、地熱、バイオマス等)</p>	<p>電力安定化 (バッテリー等) スマートメーター</p>	<p>スマートハウス ローカル発電 ピーク電力制御 直流給電</p>

中期経営計画数値

単位:百万円	09年5月期 実績	10年5月期 実績	11年5月期 計画	12年5月期 計画
売上高	5,131	4,641	4,960	5,100
営業利益	311	228	240	300
営業利益率	6.1%	4.9%	4.8%	5.9%
経常利益	354	269	340	310
経常利益率	6.9%	5.8%	6.9%	6.1%
当期純利益	178	170	204	175



『安定から成長へ』

トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスの展開により、
企業価値向上を目指すとともに、制御系/組込系/基盤系分野
のリーディングカンパニーを目指します。

お問合せ

経営企画部長 米島英紀

hideki.yoneshima@jpd.co.jp

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。